

タイトル「2019年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2019年度 経済学部シラバス」  
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	社会保険法		
担当教員	<a href="#">金川 めぐみ</a>		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水 1	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名（英語表記）	Social Assurance Law		
授業の概要・ねらい	少子化・高齢化などの人口的变化、国際化、医療費の増大、社会保障費全体の増大など、現代の社会保障制度には財政基盤や構造を揺るがしかねない問題状況が山積しています。本講義ではこのような社会保障制度の状況、特に医療・年金といった保険原理を採用している制度に対して、具体的な事例を素材とした講義を行います。		
授業計画	授業計画は、みなさんの内容の理解度や進捗状況等により変更する可能性があります。		
	回	内容	
	1	学修項目：ガイダンス・社会保障・社会保険の沿革 予習課題：シラバスに眼を通しておくこと 復習課題：講義で学んだ社会保険の沿革について確認しておくこと	
	2	学修内容：社会保険の概念、労災保険①（労災補償制度の意義/保険者/保険給付/労災保険法上の「労働者」概念） 予習課題：学修/振り返りシート（1）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（1）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	3	学修内容：労災保険②（保険料/業務上・外認定） 予習課題：学修/振り返りシート（2）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（2）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	4	学修内容：労災保険③（過労障害/過労死/通勤災害） 予習課題：学修/振り返りシート(3)の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート(3)の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	5	学修内容：労災保険④（通勤災害における逸脱・中断） 医療保険①（医療保険制度の沿革/適用範囲/体系） 予習課題：学修/振り返りシート（4）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（4）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	6	学修内容：医療保険②（保険給付/給付方式の原則と例外） 予習課題：学修/振り返りシート（5）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（5）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	7	学修内容：医療保険③（医療保険の法的関係、健康保険法/国民健康保険法の意義、被保険者） 予習課題：学修/振り返りシート（6）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（6）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	8	学修内容：医療保険④（財源と保険料/高齢者医療） 予習課題：学修/振り返りシート（7）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（7）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	9	学修内容：年金保険①（年金制度の体系/公的年金と私的年金の違い/年金給付における通則） 予習課題：学修/振り返りシート（8）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（8）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	10	学修内容：年金保険②（国民年金と厚生年金保険、老齢年金給付、遺族年金給付） 予習課題：学修/振り返りシート（9）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（9）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	11	学修内容：年金保険③（障害年金給付、財政と保険料、年金の逸失利益） 予習課題：学修/振り返りシート（10）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（10）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	12	学修内容：社会保険法制に関するグループワーク①：情報収集 予習課題：学修/振り返りシート（11）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（11）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
	13	学修内容：社会保険法制に関するグループワーク②：分析 予習課題：グループワークのワークシートについて理解しておくこと 復習課題：グループワークのポスターを完成させ、準備しておくこと	
	14	学修内容：社会保険法制に関するグループワーク③:報告 予習課題：グループワーク報告の内容を理解し準備しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（12）の学修後項目の内容について復習しておくこと	

	<p>15 学修内容：雇用保険①（意義/失業の概念/給付内容/課題）  全体のとまとめ  予習課題：学修/振り返りシート（13）の学修前項目に記載しておくこと  復習課題：学修/振り返りシート（13）の学修後項目の内容について復習しておくこと  講義内容全体について、今一度学修を深めておくこと</p>
到達目標	<p>1) 講義第1～2回で紹介する社会保険法の総論における基礎概念についていくつかのキーワードを用いて説明できるようになること。  2) 講義第3～11・15回で紹介する社会保険分野における具体的な判例について、列挙し、その内容を述べるができること。さらに具体的な判例における課題について説明できるとなおよび。  3) 講義第12～14回の少人数グループワークに参画し、与えられた題材に対して論理的に自分の意見を述べるができること。</p>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に提出する学修/振り返りシート（40点）、定期考査（60点）、任意レポート複数回（1回につき10点までの範囲でプラスアルファ点）。ただしみなさんの受講状況によりこの評価基準は変化する可能性があります。評価基準の変更がある場合は、授業中の配布プリントにて周知をします。</li> <li>・定期考査は、参照物持ち込み不可とします。</li> </ul>
教科書	西村健一郎・朝生万里子・金川めぐみ・河野尚子・坂井岳夫『社会保険の考え方 法的理解と実務の論点』ミネルヴァ書房、2018年。
参考書・参考文献	<p>日本社会保障法学会編『これからの医療と年金』法律文化社 2012年。  西村健一郎ほか『労災補償とメンタルヘルス』信山社、2014年。  川人博『過労自殺 第2版』岩波新書、2014年。  堀勝洋『年金保険法〔第4版〕：基本理論と解釈・判例』法律文化社 2016年</p>
履修上の注意・メッセージ	新聞・メディアの社会保険関係の情報を常に敏感に摂取し、授業に積極的に参加していただくことを望みます。授業中にグループワークを取り入れますので、この点につき承知をした上で受講をお願いします。
履修する上で必要な事項	この授業は「社会保険関係法」の単位を取得した者は、履修できません。
受講を推奨する関連科目	私の担当科目には、社会保障法総論（後期開講）社会福祉サービス法（前期開講）公的扶助法（本年度開講なし）があります。 なお他の関連科目としては、雇用関係法、雇用政策法、労働団結法、人権保障システム法総論、行政法総論、行政作用法、民法[総則]、民法[親族・相続]、社会政策（雇用と労働）、社会政策（社会保障）、労働経済論、社会保障論があります。
授業時間外学修についての指示	単位認定のためには、予習・復習を合わせて授業時間の倍程度の自主的な学修を行うことが必要です。 具体的な予習・復習内容は、授業計画を見てください。
その他連絡事項	
科目ナンバリング	E236002PJ